



Ⅱ 地震の概要

平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分に三陸沖の深さ約 25km でマグニチュード 9.0 の大地震が発生し，県内最大震度 6 弱（成田市，印西市），震度 5 強（銚子市ほか 20 市区町），震度 5 弱（茂原市ほか 26 市区町）を記録した。

その後，午後 2 時 49 分には九十九里・外房地域に津波警報，午後 3 時 14 分には大津波警報が発令され，午後 4 時 08 分には内房地域にも大津波警報が発令された。津波警報・注意報が全て解除されたのは 3 月 13 日午後 5 時 58 分であった。県内の津波観測値（気象庁：潮位変化）は，銚子 2.5m，館山 1.7m，千葉 0.9mであった。（陸域の痕跡高の最大波は，旭市飯岡で 7.6m（推定）にも及んだ。）



Ⅲ 被害の状況

1 教育施設の被害

県立学校は，164 校中，123 校に施設被害があった。内容は，校舎つなぎ目カバ一部分の破損 66 校，内外壁のひび割れ 32 校，受水槽・高架水槽の破損による水漏れ 28 校，液状化 22 校で被害があった。

社会教育施設等の教育機関は，21 施設中 17 施設に被害があった。

また，市町村立学校については，1,243 校中 587 校に施設等の被害があった。

2 児童生徒の被害

県立高校生 1 名と柏市中学生 1 名（救急搬送）が過呼吸となる被害の報告があったが，それ以外の人的被害の報告はなかった。

3 津波被害



陸に打ち上げられた漁船（飯岡港）



旧国道を埋め尽くす，がれきの山（旭市飯岡）

※ 写真は旭市役所提供